暴力・暴言・ハラスメントアンケートについて

近畿体操協会

近畿体操協会では各府県の体操協会と連携し、暴力、暴言、ハラスメント等の不適切な行為の根絶に向けて、近畿大会に出場する全選手・監督・コーチに対し標記アンケートを実施しています。

（公財）日本体操協会には、コンプライアンス委員会ならびに倫理規定が設けられ、併せて暴力行為等に関する相談に対応するための「暴力行為等相談窓口」が設置されていますが、近畿二府四県の体操協会においても同様の委員会と各府県倫理規定が定められ、各種の相談に対応できるよう努めています。

日本では、１９９０年代からコンプライアンスが浸透し始め、その意味、定義は拡大を続けてきました。昨今では社会の要請に対する適切な対応や日常生活に潜むリスクを感知して対応するリスク管理までが含まれているのが現状です。

「コンプライアンス」とは「決められたことを守る（法令順守）」というように説明されています。良いも悪いも何かの制約を受けるということは、当然のことながら、そこに窮屈さを感じる部分があることは理解できます。とは言っても「決められたことを守る」ということは現代人として求められる最低要件でもあります。だからこそ、ルールあるいはそのルールに求められる本質を前向きに理解し（受け止め）自律的・積極的に接して（実践して）いくことが最大のポイントになります。

次代を担うジュニア選手が単なる勝利至上主義に陥ることのなきよう、選手指導のあり方はインテグルティ―教育（誠実・健全・高潔）、すなわち人間力を備えたアスリートの育成を第一義と定め、指導者のみならず保護者をも含めて一丸となって取り組むことにより、安全に競技に集中できる環境を作り、「体操近畿」がより発展することを目標に役員一同努力する所存です。

アンケートの項目の中には「指導をしてもらって良かったこと」という項目もあります。選手の皆さんが日ごろ感じていることを書いてもらえれば、指導者も大きな喜びの材料になると思っています。

　アンケートの結果は、近畿体操協会で集計し、行われた事象については暴力・暴言・ハラスメント相談窓口として実態調査を行い、コンプライアンス委員会や理事会において審議、改善し対応していくように努めています。皆さんの協力によって、暴力・暴言・ハラスメントが一掃され、より良い体操環境や組織作りを目指すものです。ご理解の程よろしくお願い致します。

＜アンケートを実施している大会＞

・近畿高校体操競技選手権大会・近畿高校新体操選手権大会・近畿ジュニア体操競技選

　手権大会・近畿ジュニア新体操選手権大会・近畿ジュニアトランポリン選手権大会・

近畿ブロックトランポリン選手権兼近畿ブロック国民体育大会

＊個人に対する根拠のない誹謗中傷や虚偽の通報には、対応いたしません。

＊匿名および連絡先が不明の場合は、ご相談に応じかねます。